

平成 29 年度中国・四国地区国立大学法人等技術職員研修 報告書

共通機器部門 情報基盤機器管理班 鳴田 好広

1. はじめに（目的等）

業務で必要な知識・技術，一般知識の再確認と中国・四国地区大学法人等の動向について認知するため，本研修に参加した。

2. 期間・場所

期間：平成 29 年 8 月 30 日（水）から 平成 29 年 9 月 1 日（金）

場所：山口大学常盤キャンパス(〒755-8555 山口県宇部市常盤台 2 丁目 14 番 1 号)

3. 参加者等

受講者 中国・四国地区 技術職員：約 40 名

4. 研修内容

8 月 30 日 研修内容

全体講義Ⅰ：“国立大学法人山口大学の現状，そしてこれから”

全体講義Ⅱ：“山口大学技術職員組織の全学化に向けた取り組み”

全体講義Ⅲ：“宇宙利用のすすめ！”

8 月 31 日 研修内容

分野別実習：“真空技術の基礎知識の習得”

9 月 1 日 研修内容

全体講義Ⅳ：“国際宇宙ステーション・「きぼう」日本実験棟初の燃焼実験「Group Combustion」”

全体講義Ⅴ：“マイクロコンピュータを用いた空気圧アクチュエータの制御”

全体講義Ⅵ：“技術系職員として知っておきたい知的財産の基礎知識”

5. まとめ・感想

全体講義Ⅰ・Ⅱの感想・まとめとして，大学全体の予算・限られた人員で技術職員の業務形態人員配置を行い全学支援のための組織改編の状況や運営費削減や学外からの資金を獲得するため，学内の構成員で企業の技術相談・解析業務を行っていると感じられた。

分野別実習は，真空技術で必要な基礎知識を講義・排気実習・薄膜形成の実習を交えての内容であった。講義では，真空ポンプの種類，排気過程，真空装置部品，排気実習など，失念・誤認，初めて知った知識の確認と習得が出来た。また，薄膜形成の実習では，簡易スパッタ・エッチング装置を用いて材料の薄膜形成と薄膜形成後のエッチング・ドライエッチングの実習をおこない，装置の取り扱い，薄膜形成の状態，知識について習得できた。分野別実習で得た知識を用いて業務の質を向上させていく。

全体講義Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ，宇宙で使用している衛星を用いて観測したデータの使用方法・それらの技術動向や，無重力の状態での燃焼，空気アクチュエータの制御方法について，多岐にわたる講演であり，興味深かった。

全体講義Ⅵの内容では，知的財産について山口大学で力を入れているため，知的財産の知識が無く，初見の者でも，分かり易く必要性について学べる内容であった。